



令和元年度厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援政策研究事業）
「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究」研究班による

『プレコンセプションケアを考える会』

～ 若い男女の健康・次世代の健康を考える ～

2019年 10月 7日（月）

共 催 : 令和元年度 厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援政策研究事業）
『保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究』（研究代表者 荒田尚子）、
国立成育医療研究センター プレコンセプションケアセンター

後 援 : 日本医師会、日本医療政策機構、日本栄養士会、日本家族計画協会、日本学校保健会、日本看護協会、日本健康教育学会、日本公衆衛生学会、
(五十音順) 日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会、日本子宮内膜症啓発会議、日本思春期学会、日本小児科医会、日本小児科学会、日本助産師会、
日本女性医学学会、日本内科学会、日本プライマリー・ケア連合学会、日本母性内科学会、働く女性の健康増進のためのプロジェクト事務局

Program

司会／コーディネーター： 国立成育医療研究センター広報企画室 村上 幸司
コーディネーター： 国立成育医療研究センター母性内科 三戸 麻子

(敬省略)

14:00-14:05	【開会のご挨拶】	国立成育医療研究センター 理事長	五十嵐 隆
14:05-14:25	【第一部・特別講演】 『日本医師会での若い世代の健康教育への取組と展望』 日本医師会 常任理事		道永 麻里
14:25-16:00	【第二部・パネルディスカッション】	テーマ：「日本のプレコンセプションケアを考える」	(パネリスト)
	産婦人科の立場から	東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座 准教授	甲賀 かをり
	内科の立場から	国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター 母性内科診療部長	荒田 尚子
	小児科の立場から	国立成育医療研究センター総合診療部 医師	阪下 和美
	健康教育の立場から	日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科 教授	助友 裕子
	栄養教育の立場から	女子栄養大学栄養学部 教授 管理栄養士	武見 ゆかり 中村 悟子
	国際標準の科学的健康教育を考える： 助産師の立場から	防衛医科大学校看護学部母性看護学 教授	西岡 笑子
	大学生の立場から	日本女子体育大学体育学部	遠山 友美子 山本 夏湖
	公衆衛生の立場から	秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 講師	前田 恵理
16:00-16:05	【提言発表】	国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター 母性内科 診療部長	荒田 尚子
16:05-16:10	【閉会のご挨拶】	厚生労働省健康局健康課 女性の健康推進室長	藤野 綾太

講師・パネリスト・司会者のご紹介（敬称略）



【講師】



道永 麻里（ミチナガ マリ）

公益社団法人 日本医師会 常任理事。上智大学語学科・千葉大学医学部卒業。平成24年4月より日本医師会常任理事。本年4月より女性としてはアジア初の世界医師会（WMA）役員に任命される。日本医師会では、学校保健、国際の分野を担当。

【パネリスト】



甲賀 かおり（コウガ カオリ）

東京大学大学院医学系研究科。生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座 准教授。
千葉大学医学部卒業・東京大学医学部大学院医学系研究科修了。産婦人科の若きリーダーの一人。
特に女性の月経や生殖に関する諸問題に取り組んでいる。



阪下 和美（サカシタ カズミ）

国立成育医療研究センター総合診療部総合診療科医師。岐阜大学医学部卒業。専門分野は、総合小児科。
日本の子どもたちの「こころとからだの健康を最大限にする」ためにヘルス・スーパービジョン体制の構築を目標として活動している。
著書に「正常ですで終わらせない！子どものヘルス・スーパービジョン」がある。



助友 裕子（スケトモ ヒロコ）

日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科教授。順天堂大学スポーツ健康科学部卒業、順天堂大学大学院医学研究科博士課程修了。
2008年から国立がんセンター（現国立がん研究センター）で、がんの教育・普及啓発に取り組む。
専門はヘルスプロモーション。ヘルスプロモーションのできる保健体育教諭を育てることに力を入れている。



遠山 友美子（トオヤマ ユミコ） 日本女子体育大学体育学部4年生

山本 夏湖（ヤマモト カコ） 日本女子体育大学体育学部4年生

遠山（写真左）： 招来の夢は、人に自信を持たせられる人になること（卒業後美容健康関連のIT企業勤務予定）。

山本（写真右）： 招来の夢は、何でもいからギネス記録をつくること（卒業後はスポーツ関連のIT企業に勤務予定）。

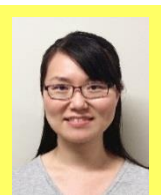


武見 ゆかり（タケミ ユカリ）

女子栄養大学栄養学部教授。慶應義塾大学文学部フランス文学専攻卒・女子栄養大学大学院栄養学研究科栄養学専攻修士課程修了。厚生労働省厚生科学審議会委員、農林水産省食育推進会議委員をはじめ多くの栄養・食に関する政策決定にかかわる。日本栄養改善学会理事長、日本健康教育学会理事長。健康教育・ヘルスプロモーション、特に栄養教育・食環境整備に関する研究と実践を行っている。

講師・パネリスト・司会者のご紹介

【パネリスト】



中村 悟子 (ナカムラ サトコ)

医療法人社団双鳳会山王クリニック管理栄養士。女子栄養大学大学院栄養学専攻修士課程在籍。妊娠期の栄養管理を実践しながら、現在、武見ゆかり先生のもとで栄養教育を学んでいる。



西岡 笑子 (ニシオカ エミコ)

防衛医科大学校医学教育部看護学科母性看護学教授。東京大学医学部健康科学・看護学科卒業 順天堂大学医学研究科博士課程修了。母性看護学・助産学を専門とし、看護学生とともに中学生への性の健康教育に取り組んでいる。
(令和元年度 厚生労働科学研究費補助金 (女性の健康の包括的支援政策研究事業) 『保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究』研究分担者)



前田 恵理 (マエダ エリ)

秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座講師。東京大学医学部医学科卒業、東京大学医学系研究科社会医学専攻博士課程修了。公衆衛生学を専門とし、不妊やプレコンセプションケアを中心に医療政策的研究を行っている。
(令和元年度 厚生労働科学研究費補助金 (女性の健康の包括的支援政策研究事業) 『保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究』研究分担者)



荒田 尚子 (アラタ ナオコ)

国立研究開発法人国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科診療部長。広島大学医学部卒業。専門は妊娠に関連した甲状腺疾患・糖代謝障害。次世代を担う健全な子どもの出生と成長も考慮した“女性医療”を内科の立場から提供。平成27年に成育医療研究センター内にプレコンセプションケアセンターを立ち上げた。
(令和元年度 厚生労働科学研究費補助金 (女性の健康の包括的支援政策研究事業) 『保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究』研究代表者)

【司会・パネルディスカッションコーディネーター】



村上 幸司 (ムラカミ コウジ)

国立研究開発法人国立成育医療研究センター
企画戦略局 広報企画室広報室。
平成31年度4月より現職。アナウンサー歴15年以上。

【パネルディスカッションコーディネーター】



三戸 麻子 (ミト アサコ)

国立研究開発法人国立成育医療研究センター
周産期・母性診療センター母性内科・
プレコンセプションケアセンター 医師。



「誰一人取り残さない」すべての若い男女に健康を